

令和6年 7月10日

2023 年度「市民防災・減災活動公募助成」事業実施報告書

団体名 NPO 法人防災・災害ボランティアかわせみ

代表者・役職名 氏名 代表理事 谷岡 康

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

地区防災計画策定促進活動(八王子市→全国オンラインに変更)

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

★無料 SNS 会員 796 名(被災地災害ボランティアでのご縁を主に 2013 年、NPO 法人格取得)

●安全・安心まちづくり

- ・防災講演会: 主に地域の水害特性につき調べ地域市民に危機意識啓発を行っている
- ・防災教室: 防災ジオラマ作成のイベントを通して、自地域の災害危険区域等を学んでもらう
- ・地区防災計画策定支援: H25災害対策基本法改正に基づく(たすけあいの)「地区防災計画」の素案作成の支援を行っている。
- ・防災情報システム研究開発(特許庁登録2件、申請中1件)

●災害復旧支援活動

- 被災者によりそい、おもにボランティアセンターに取り残されたニーズに対して復旧支援を行う
- ・東日本台風災害復旧支援(長野市松代町、篠ノ井地区、八王子、館山、鋸南町、川崎、横浜等)
- ・西日本豪雨災害(岡山県真備町、岐阜県関市等)

★現状、能登半島地震災害支援活動に注力している

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

当法人では、地域コミュニティ、はちそな会(はちおうじ災害に備える会)をたちあげ、八王子市福祉部高齢者いきいき課、市内生活支援コーディネーターと協働推進会議と経て、令和4年6月に「八王子市地域助け合い・社会参加応援団体」に登録した。なかでも H27 災害対策基本法に定められた、全国的に遅々として進まない「地区防災計画策定」を促進する人材を育成したいと考える。また、地区防災計画策定を始める地区に「わがまちハザードマップ」(一軒一軒の建造物、通路が識別できるスクロール、拡大)作成支援ソフトを開発する。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

●地区防災計画策定支援人材育成:6回の講座を開催(2か月に一回程度)、地区防災計画学会正会員でもある、代表理事:谷岡が主たる講師として、八王子でのマンション防災計画に関わったメンバー、静岡での DIG セミナーのメンバーを招き、八王子市の災害特性に応じた地区防災計画の策定の具体的促進方法をはちそな会のメンバーを主に学んでもらう。(6回講座は以下予定)

- ①地区防災計画とは ②八王子市の要項、作成の手引き ③八王子市内マンション防災地区防災計画の事例、④全国他地区の策定事例 ⑤八王子の災害危険箇所と命を守る避難行動 ⑥避難要支援者個別避難計画につき ⑦地区防災計画素案に記入すべき事項の整理

●「わがまちハザードマップ作成支援システム」構築:市内各種ハザードのデータを収集、データ変換、QGIS によって拡大(地区内の建造物、道路の識別)、スクロールでき、地図を作製するシステム構築(現在のハザードマップは色分けもわかりづらく、単純に拡大するも一軒一軒の建造物も識別が困難)。事例として八王子市川口地区につき、講演会で公開し、関心を集めた

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

1. 防災に興味のある市民(全国各所 80 名程度)、地域・地区の防災リーダーとなるべき方々へ、「地区防災計画制度」の基本、必要性、助け合い(共助)の重要性を理解してもらえた。アンケートの回答があったなかでも「地区防災計画は必要」、自地域、自地区でも進めたい」が全てであった。

2. 国交省(関東地方整備局)、東京都(建設局河川部計画課)、八王子市(防災課)からのハザードデータ QGIS システムへの落とし込みにより、八王子市内の各地区における、地区防災計画策定における災害特性のマップ作りに欠かせないシステム開発。(拡大・スクロール・必要地区抜き出し自在)

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

1か月おきの6回講座(オンラインと会場デュアル開催)としたが、全ての講座に参加出来た人は限られる。また、気候変動による水害の激甚化、能登半島地震の発生と新たな対応の課題など自然災害に対する社会状況は変化している。

年々の社会状況、災害特性、対する行政の動きをとりいれながら、継続的な「防災講座」の継続が必要と考えている。(助成事業が採択されなければ、有料講座でも必要と考える)

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

市民防災講座【全6回】

参加費無料



みんなでつくる

地区防災計画

～激甚化する水害に備えて～

講師(1～4)、監修:谷岡やすし:NPO法人かわせみ代表理事
(地区防災計画学会、河川工学博士、技術士)

講師プロフィール



令和5年10月～令和6年3月:毎月、第4土曜 14時～16時

- R5 10/28(土) → 1. たすけあいの地区防災計画
11/25(土) → 2. 水害の種類と避難方法
12/23(土) → 3. ハザードマップで観えないリスク

内水?
線状降水帯?
河岸浸食?

- R6 1/27(土) → 4. 水防災に係る法制度(変更)

講師(1～4) 谷岡やすし(河川工学博士、地区防災計画学会、技術士)

- 2/24(土) → 5. 多文化共生の防災計画

ゲスト講師 宮武 茜(多文化共生コーディネーター、「入門・やさしい日本語」認定講師)
松原 久美子(日本語教師、kokohanaやさしい日本語講師)

- 3/23(土) → 6. 八王子市地区防災計画実践例

ゲスト講師 恒川 信一(グレースパーク八王子みなみ野自治防災会、難病ネットワーク主宰)

(補)わがまちハザードマップ作成にあたって: 谷岡

会場:かわせみ事務所会議室(※)先着15名

参加申し込み

ZOOMオンライン同時配信:先着100名



●申し込み:ホームページ(<https://www.npo-kawasemi.org/>)問合せから

主催:NPO法人防災・災害ボランティアかわせみ

共催:はちそな会(はちおうじ災害に備える会)



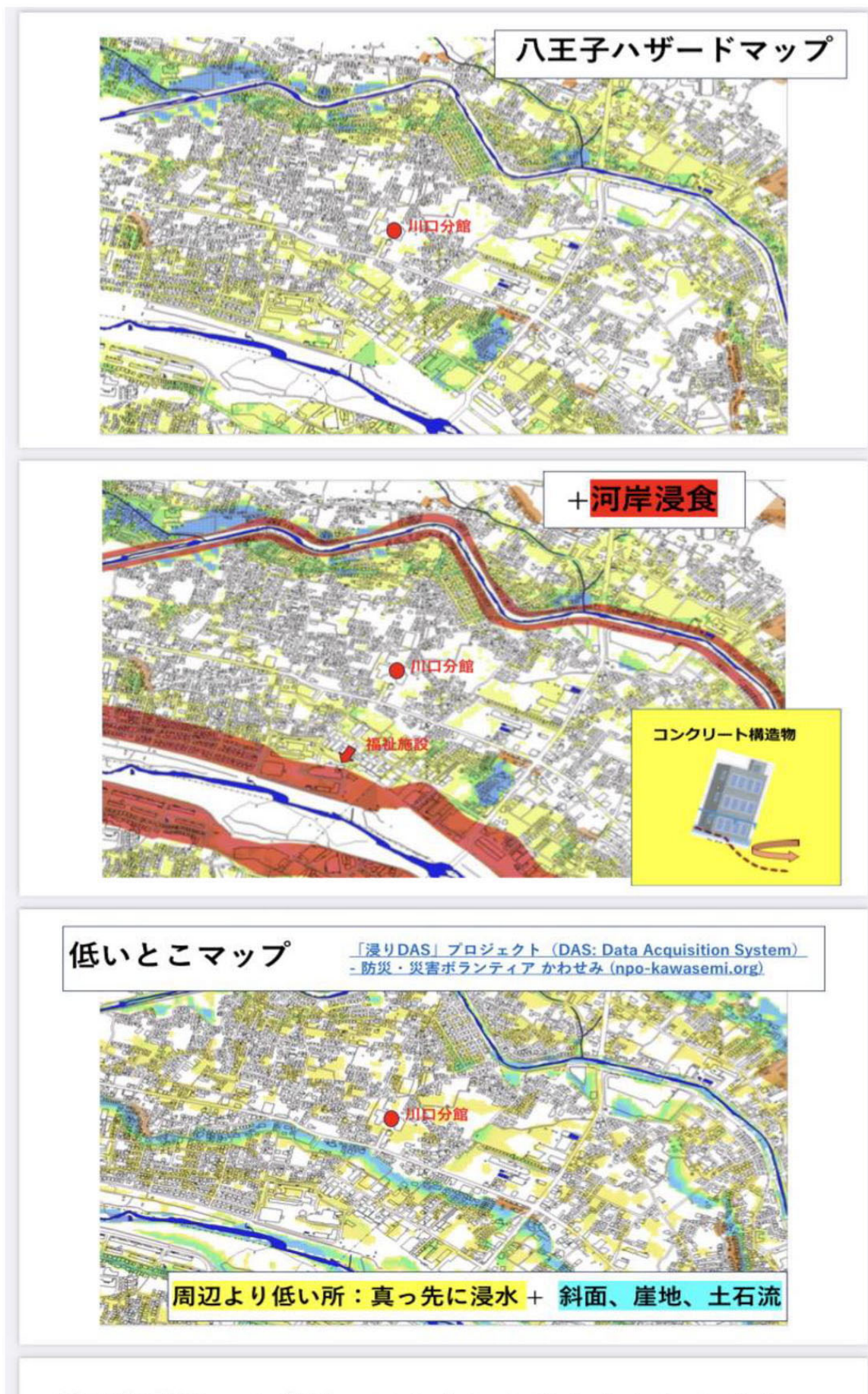
(※)かわせみ事務所:八王子市石川町1796番地30

Email: npo.kawasemi.info@gmail.com

真如苑市民防災活動助成事業



わがまちハザードマップ作成事例(川口地区)



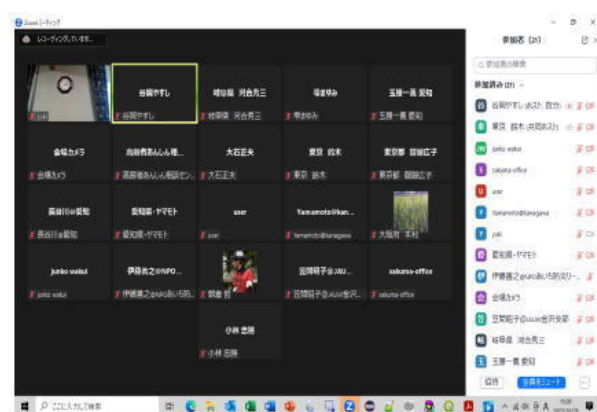
活動写真



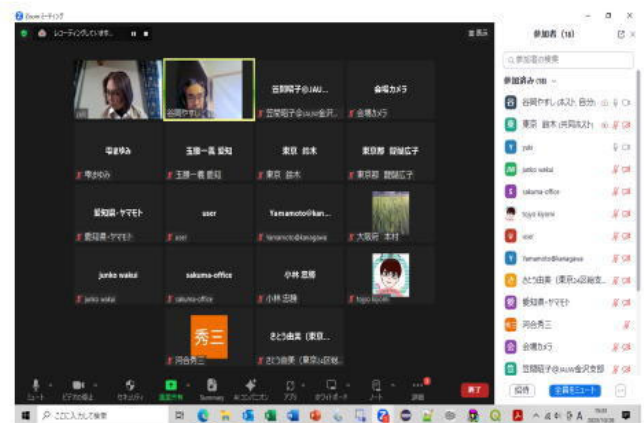
防災講座@八王子かわせみ事務所



防災講座後懇談会



ZOOMオンライン参加者1



ZOOMオンライン参加者2



●第1回【たすけあいの地区防災計画】講座資料（R5.10/28）

●第2回【水害の種類と避難方法】講座資料（R5.11/25）

●第3回【ハザードマップで観えないリスク】講座資料（R5.12/23）

●第4回【水防災に係る法制度】講座資料（R6.1/27）

●第5回【多文化共生の防災計画】講座ワークシート

※これさえあれば!!「やさしい日本語」図鑑
（カテゴリーI対応）～掲示物の活用

●第6回【地区防災計画実践例】配布資料（R6.3/23）